

2020年度 授業シラバスの詳細内容

| ○基本情報 | | | | ○成績評価の指標 | | ○成績評価基準(合計100点) | | | | |
|------------------|--|-------------------|-----------------------------|--|---|---------------------|-------------------|------------------|--|--|
| 科目名(英) | 社会福祉援助技術演習 I (Skills Training for Social Work Practice I) | | | 到達目標の観点 | 到達目標 | テスト (期末試験・中間確認等) | 提出物 (レポート・作品等) | 無形成果 (発表・その他) | | |
| ナンバリングコード | E20926 | 大分類 / 難易度 科目分野 | 経営経済学科 専門科目 / 標準レベル 社会福祉 | 【関心・意欲・態度】 | グループ活動に積極的に参加することができる。 | | 15点 | 15点 | | |
| 単位数 | 2 | 配当学年 / 開講期 | 2年 / 通年 | 【知識・理解】 | 社会福祉士に求められる相談援助に係る知識について理解している。 | | 10点 | 10点 | | |
| 必修・選択区分 | 選択:経営経済学部 コース選択必修:情報メディア学科 情報コミュコース | | | 【技能・表現・コミュニケーション】 | グループ活動や発表において、自分の考えを適切に伝えることができる。 | | 15点 | 15点 | | |
| 授業コード | E021503 | クラス名 | - | 【思考・判断・創造】 | 講義を通じて、学んだことを専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる。 | | 10点 | 10点 | | |
| 担当教員名 | 古野 愛子、河村 裕次 | | | ○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法) | | | | | | |
| 履修上の注意、履修条件 | 「社会福祉援助技術演習 II」・「社会福祉援助技術現場実習指導」・「社会福祉援助技術現場実習」の3科目の履修には、「社会福祉援助技術演習 I」の単位を修得していることが条件となります。 聞くこと、見ること、調べること、そして、真剣に考え、積極的に取り組むことを心がけてください。また、やむを得ない場合を除いて、欠席、遅刻は認められません。 | | | 各種提出物をもとに総合的に判断します。 [Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。 講義・グループ活動への参加をもとに総合的に判断します。 [Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。 | | | | | | |
| 教科書 | 特になし | | | ○その他 | | | | | | |
| 参考文献及び指定図書 | 相澤謙治・植戸貴子他編(2012)『ソーシャルワーク演習ケースブック』みらい 澤伊三男他編『社会福祉援助技術演習ワークブック』相川書房 山田容他著『ワークブック社会福祉援助技術演習1~5』ミネルヴァ書房 | | | グループワークが中心とした講義となります。 | | | | | | |
| 関連科目 | 相談援助の基盤と専門職、相談援助の理論と方法、高齢者福祉論、障害者福祉論、児童福祉論、公的扶助論、社会福祉援助技術現場実習、社会福祉援助技術現場実習指導、社会福祉援助 | | | | | | | | | |
| ○授業の目的・概要等 | | | | | | | | | | |
| 授業の目的 | (社会福祉援助技術演習 I・II 共通) 相談援助の知識と技術に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ、社会福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について、実践的に習得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てしていくことができる能力を涵養する。 □ | | | | | | | | | |
| 授業の概要 | 社会福祉援助技術演習 I では、まず相談援助職に求めらる姿勢(価値観、自己覚知等)についてグループ活動を通じて学んでいきます。その後、ソーシャルワークの援助過程について、事例をもとにそれぞれの過程で何を目的に援助職は何をするのかについて考えていきます。 | | | | | | | | | |
| 授業の運営方法 | (1)授業の形式 | 「演習等形式」 | | | | | | | | |
| | (2)複数担当の場合の方式 | 「共同担当方式」 | | | | | | | | |
| | (3)アクティブラーニング | グループワーク 他 | | | | | | | | |
| 地域志向科目 | カテゴリー III: 地域における課題解決に必要な知識を修得する科目 | | | | | | | | | |
| 実務経験のある教員による授業科目 | 該当なし | | | | | | | | | |

2020年度 授業シラバスの詳細内容

| | |
|---|--|
| <p>○授業計画 科目名：社会福祉援助技術演習 I (Skills Training for Social Work Pr_I) 授業コード:E021503 担当教員：古野 愛子、河村 裕次</p> <p>学修内容</p> <p>1. オリエンテーション 社会福祉援助技術演習 I の意義・目的・内容について説明。</p> <p>予習：シラバスを確認し、授業の内容を把握しておく。 (約2.0h) 復習：ワークシートの提出 (約2.0h)</p> <p>2. 自己理解、他者理解 自己理解、他者理解について学ぶ。</p> <p>予習：自己を理解することがソーシャルワークにどのようにつながるのか、調べておく。 (約2.0h) 復習：ワークシートの提出 (約2.0h)</p> <p>3. 疑似体験①(車椅子) 車椅子の扱い方について学ぶ。 車椅子利用者について理解する。</p> <p>予習：車いすが必要な人の生活について調べておく。 (約2.0h) 復習：ワークシートの提出 (約2.0h)</p> <p>4. 疑似体験②(ブラインドウォーク) 視覚障がい者への支援について学ぶ。 視覚障がい者について理解する。</p> <p>予習：視覚障害の方の生活について調べておく。 (約2.0h) 復習：ワークシートの提出 (約2.0h)</p> <p>5. 価値観について 価値観の違いについて理解する。</p> <p>予習：個々の価値観がソーシャルワークにどのように影響するのか調べておく。 (約2.0h) 復習：ワークシートの提出 (約2.0h)</p> <p>6. コミュニケーション 言語コミュニケーション、非言語コミュニケーションについて理解する。</p> <p>予習：コミュニケーションについて調べておく。 (約2.0h) 復習：ワークシートの提出 (約2.0h)</p> <p>7. 面接技法 面接場面を実際に体験し、面接技法について学ぶ。 バイステックの7原則について学ぶ。</p> <p>予習：バイステックの7原則とその重要性について調べておく。 (約2.0h) 復習：ワークシートの提出 (約2.0h)</p> <p>8. ソーシャルワークの理念①(人権) ソーシャルワークに求められる人権について学ぶ。</p> <p>予習：人権とは何か、なぜ重視されるようになったのか調べておく。 (約2.0h) 復習：ワークシートの提出 (約2.0h)</p> | <p>○授業計画 科目名：社会福祉援助技術演習 I (Skills Training for Social Work Pr_I) 授業コード:E021503 担当教員：古野 愛子、河村 裕次</p> <p>学修内容</p> <p>9. ソーシャルワークの理念②(社会正義[差別・偏見]) ソーシャルワークにおける社会正義について学ぶ。</p> <p>予習：社会正義とは何か、ソーシャルワークとどのように関わるのか調べておく。 (約2.0h) 復習：ワークシートの提出 (約2.0h)</p> <p>10. ソーシャルワークの理念③(社会的排除と社会的包摶) ソーシャルワークにおける社会的排除と社会的包摶について学ぶ。</p> <p>予習：社会的排除と社会的包摶について調べ、なぜソーシャルワークで重視されるのかまとめておく。 (約2.0h) 復習：ワークシートの提出 (約2.0h)</p> <p>11. ソーシャルワークの理念④(権利擁護) ソーシャルワークに求められる権利擁護について学ぶ。</p> <p>予習：権利擁護について調べ、問題となるような事例について調べておく。 (約2.0h) 復習：ワークシートの提出 (約2.0h)</p> <p>12. ソーシャルワークの理念⑤(自立支援) ソーシャルワークに求められる自立支援について学ぶ。</p> <p>予習：自立支援について調べ、どのような場面で重要なか把握しておく。 (約2.0h) 復習：ワークシートの提出 (約2.0h)</p> <p>13. ソーシャルワークの理念⑥(クライエントの利益の優先) ソーシャルワークに求められるクライエントの利益の優先について学ぶ。</p> <p>予習：クライエントの利益の優先について調べ、どのような問題が起こり得るか調べておく。 (約2.0h) 復習：ワークシートの提出 (約2.0h)</p> <p>14. ソーシャルワークの理念⑦(倫理的ジレンマ) ソーシャルワークにおける倫理的ジレンマについて学ぶ。</p> <p>予習：倫理的ジレンマについて事例を調べ、自分だったらどのように対応するかまとめる。 (約2.0h) 復習：ワークシートの提出 (約2.0h)</p> <p>15. 前期振り返り 前期の講義内容について振りかえる。</p> <p>予習：前期の内容を振り返り、まとめておく。 (約2.0h) 復習：振り返りシートの提出 (約2.0h)</p> <p>16. オリエンテーション 後期演習 I の意義、目的、内容についての説明。</p> <p>予習：前期の内容を振り返り、まとめておく。 (約2.0h) 復習：ワークシートの提出 (約2.0h)</p> |
|---|--|

2020年度 授業シラバスの詳細内容

| | |
|--|---|
| <p>○授業計画 科目名：社会福祉援助技術演習 I (Skills Training for Social Work Pr_e) 授業コード:E021503 担当教員：古野 愛子、河村 裕次</p> <p>学修内容</p> <p>17. ソーシャルワークの理念⑧(個別化) ソーシャルワークに求められる個別化について学ぶ。</p> <p>予習：個別化について調べ、個別化が守られない時どのような問題が起こり得るのかまとめておく。 (約2.0h) 復習：ワークシートの提出 (約2.0h)</p> <p>18. ソーシャルワークの理念⑨(受容・非審判的態度) ソーシャルワークに求められる受容・非審判的態度について学ぶ。</p> <p>予習：受容・非審判的態度について調べ、それが守られていない時にどのような問題が起こり得るのかまとめておく。 (約2.0h) 復習：ワークシートの提出 (約2.0h)</p> <p>19. ソーシャルワークの理念⑩(自己決定) ソーシャルワークに求められる自己決定について学ぶ。</p> <p>予習：自己決定について調べ、それが守られない時にどのような問題が起こり得るのかまとめておく。 (約2.0h) 復習：ワークシートの提出 (約2.0h)</p> <p>20. ソーシャルワークの援助過程①(概説) ソーシャルワークの援助過程および援助内容について理解する。</p> <p>予習：ソーシャルワークの援助課程はどのように進むのか、調べておく。 (約2.0h) 復習：ワークシートの提出 (約2.0h)</p> <p>21. ソーシャルワークの援助過程②(インテーク1) インテーク面接の意義・目的について理解する。</p> <p>予習：インテーク面接で特に気を付けなければいけないこと、注意点等についてまとめておく。 (約2.0h) 復習：ワークシートの提出 (約2.0h)</p> <p>22. ソーシャルワークの援助過程②(インテーク2) インテーク面接のロールプレイを通じて、面接技法について理解する。</p> <p>予習：インテーク時の資料等を確認し、シミュレーションをしておく。 (約2.0h) 復習：ワークシートの提出 (約2.0h)</p> <p>23. ソーシャルワークの援助過程③(アセスメント1) フェースシートの作成(情報収集)方法を学ぶ。</p> <p>予習：アセスメントについて調べ、注意点等についてまとめておく。 (約2.0h) 復習：ワークシートの提出 (約2.0h)</p> <p>24. ソーシャルワークの援助過程④(アセスメント2) アセスメントシートの作成(情報分析)方法を学ぶ。</p> <p>予習：資料のアセスメント用紙を確認し、シミュレーションをしておく。 (約2.0h) 復習：ワークシートの提出 (約2.0h)</p> | <p>○授業計画 科目名：社会福祉援助技術演習 I (Skills Training for Social Work Pr_e) 授業コード:E021503 担当教員：古野 愛子、河村 裕次</p> <p>学修内容</p> <p>25. ソーシャルワークの援助過程⑤(プランニング1) 生活課題の捉え方、目標の設定の仕方について学ぶ。</p> <p>予習：プランニング時に必要な情報、プランニングの方法等について調べておく。 (約2.0h) 復習：ワークシートの提出 (約2.0h)</p> <p>26. ソーシャルワークの援助過程⑥(プランニング2) 必要な社会資源を考え、プランニングシートを作成する。</p> <p>予習：資料から、自分だったらどのようなプランニングを行うのか考えておく。 (約2.0h) 復習：ワークシートの提出 (約2.0h)</p> <p>27. ソーシャルワークの援助過程⑥(プランニング3) 作成したプランニングシートを発表し、他グループとの共有を行う。</p> <p>予習：発表の準備。 (約2.0h) 復習：プランニングシートの提出 (約2.0h)</p> <p>28. ソーシャルワークの援助過程⑦(モニタリング) どのような視点でモニタリングを行うのか学ぶ。</p> <p>予習：モニタリングの視点について調べておく。 (約2.0h) 復習：ワークシートの提出 (約2.0h)</p> <p>29. ソーシャルワークの援助過程⑧(エバリュエーション) どのような視点でエバリュエーションを行うのか学ぶ。</p> <p>予習：エバリュエーションの重要性、何に役に立つかまとめておく。 (約2.0h) 復習：ワークシートの提出 (約2.0h)</p> <p>30. 振り返り 演習Ⅰの内容を振り返るとともに、演習Ⅱとの関連について理解する。</p> <p>予習：これまでの演習を振り返り、ソーシャルワークの過程についてまとめておく。 (約2.0h) 復習：振り返りシートの提出 (約2.0h)</p> <p>31.</p> <p>予習： 復習： (約2.0h)</p> <p>32.</p> <p>予習： 復習： (約2.0h)</p> |
|--|---|